

令和4年度 学力向上プラン（留意点入）

学校名 中央区立月島第一小学校

学校の教育目標

- ・進んで学び深く考え、行動する子ども
- ・思いやりをもち、助け合う子ども
- ・健康で、ねばり強い子ども

教育目標を達成するために学校として重点的に育成を目指す資質・能力（確かな学力向上にかかわる内容）

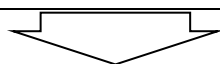
- ・子どもにとって魅力ある授業や達成感・充実感のある授業の実施
- ・指導法の工夫による「学ぶ意欲の高揚」と「学習習慣の確立」
- ・学習規律と基本的生活習慣の定着

令和4年度「学習力サポートテスト」や令和4年度学力向上プランの検証結果、学校評価の結果等によって明らかになった課題及び要因

	児童・生徒の学力の課題	主な要因
国語	「令和4年度サポートテスト」における書く力において、参加校平均点を、4年生では5.7ポイント、5年生では5.9ポイント、6年生では16ポイント下回っている。読解では、4年生では5.0ポイント、6年生では5.4ポイント下回っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・意図に合った文章を書くための内容を捉えることができていない。 ・文章を書く目的や構成を意識できていない。
算数	「令和4年度サポートテスト」における図形学習において、参加校平均点を、4年生では8.6ポイント、6年生では5.6ポイント下回っている。記述においては、4年生では7.2ポイント、5年生では16.8ポイント、6年生においては9.3ポイント下回っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の習熟が不十分である。 ・図や言葉で考えを表現したり他の児童に説明したりするなどの機会が少ないことが考えられる。また、表現することが苦手であると感じている児童がいる。
社会	「令和4年度サポートテスト」における社会的事象における理解については、参加校平均点を、4年生では2.1ポイント下回っている。記述においては、4年生では17.2ポイント、5年生では2.9ポイント、6年生では13.3ポイント下回っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・社会事象を関連付けてまとめる活動が十分にできていない。 ・様々な資料を読み取り、分かったことについて考察し表現する活動が十分にできていない。
理科	「令和4年度サポートテスト」における結果を整理し論理的にまとめることにおいては、参加校平均点を、4年生では7.6ポイント、5年生では5.9ポイント、6年生では14.4ポイント下回っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項と結びつけて課題を解決する経験が少ない。 ・まとめは課題に正対したものであることを十分に理解していない。
英語	「令和4年度サポートテスト」における単語の意味理解（聞く）では、参加校平均点を、4年生では5ポイント下回っている。日常会話を聞いて、その目的や場面・状況などを理解することが苦手である。	<ul style="list-style-type: none"> ・反復して学習する時間を十分に取れていない。 ・繰り返し聞き取りをする時間が十分とれていない。

体育・保健体育	「東京都統一体力テスト」の結果における握力の数値が、ほとんどの学年で1～2ポイント下回っていた。	・普段の生活や遊びの中での運動経験の差が体力調査の結果の差につながっている。また、個人差が大きい。
---------	--	---

学力向上に向けた視点		年度末までの目標及び指標
① 各教科	国語	文章を書く力において、「令和5年度学習力サポートテスト」のすべての実施学年で、それぞれ目標値を達成するようにする。
	算数・数学	四則計算において、「令和5年度学習力サポートテスト」のすべての実施学年で、それぞれ目標値を達成するようにする。
	社会	社会的事象における理解において、「令和5年度学習力サポートテスト」のすべての実施学年で、それぞれ目標値を達成するようにする。
	理科	結果を整理、論理的にまとめるにおいては、「令和5年度学習力サポートテスト」のすべての実施学年で、それぞれ目標値を達成するようにする。
	英語	単語に意味理解で、「令和5年度学習力サポートテスト」で、それぞれ目標値を達成するようにする。
	体育・保健体育	「東京都児童・生徒、体力・運動能力」で、すべての実施学年で、参加校平均点を取るようにする。
②授業改善	学校評価の児童アンケートにおける「授業がよく分かる」において、93パーセントを上回るようにする。	
③家庭との連携	学校評価の保護者アンケートにおける「学習習慣を身に付き、自ら進んで課題に取り組んでいる」において、80パーセントを上回るようにする。	
④体力向上	握力を1ポイント上回るようにする。	



【目標達成のための具体的な取組内容】

① 各教科	
国語	単元の最後のまとめやその時間の振り返りを、その都度書いていく。また、文章を書くときは、書く目的や構成を意識させる。毎週水曜日の朝の時間に読書をする時間を設定し、本を読むことを習慣付ける
算数・数学	自分の考えを表現する活動をしていく。図形領域の学習では、繰り返し練習問題を解いていく。

社会	3年生以上では、単元の最後に、社会的事象を関連付けたまとめを書く活動を入れる。統計グラフや年表などの資料から内容を読み取り、気付いたことや自分の考えをまとめる活動を行っていく。
理科	3年生以上で、実験・観察後の結果を整理した後、自分で考えてまとめる活動をする。
英語	5, 6年生で、単語の意味理解を十分にさせるために、反復して学習する時間を毎時間とる。
体育・保健体育	体育の授業の際には、グーパー運動(学年×10+10回)を行う。休み時間においては鉄棒や雲梯などの固定遊具を使った運動遊びを行う。

②授業改善

取組Ⅰ	学習指導要領や解説、教科書、指導書、以前の実践を参考に、児童の実態に合った授業プランを構成し、児童が意欲的に取り組める授業にする。また、発問や学習形態を踏まえた板書計画を立て、ノートを定期的に点検し、自らの思考の流れがわかるようなノート作りができるように指導していく。
取組Ⅱ	授業後に授業の構成を見直し、児童の授業中の反応、提出物、テスト等の結果分析を行い、児童に「何が身に付いたか」を振り返る。必要に応じて、習熟する時間を多く取るようにする。

③家庭との連携

取組Ⅰ	Classroomを活用し、学年便りや学級便り、連絡帳を通し、学習状況に関する情報を発信する。学習用具の準備、宿題への取り組み等、見通しをもたせ、児童の学習に臨む姿勢を整える。
取組Ⅱ	「家庭学習の手引き」を配布し、自学・自習の内容を充実させる。宿題の提出率を9割以上にし、家庭学習の習慣を身に付ける。

④体力向上

取組Ⅰ	発達段階に合わせた運動や運動遊びを通して、自己の課題をもたせ、友達と関わりながら、体の動きを高められるようにする。外体育の授業の際には、〇分間走を行う。
取組Ⅱ	ボルダリングに登ることを通して体力と思考力を身に付け、自分の限界に挑戦したり、課題を克服したりする楽しさを味わう。

